

岩雲花香 いづみかほ 國學者。實政四年二月十一日所波國坂野郡吉田村生れ、明治二年四月二十五日歿（一七九二—一八六九）。譯名。神主の家へ生れると幼免の兩親と死別し、十七歳で出郷。平田篤胤、石川依平、加納謙平、植松茂左衛門と交はり、一日歸郷後、台座無窮くといふ軸物を掲げ、諸國を行脚、敬神愛國の教化に努めた。

『岩雲花香翁』(昭和二十二年八月十五日徳島・岩雲花香翁顕彰会編刊)がある。